

駅立ち(朝6~8時半、夜7~12時)を、定期的に続けて**16年目**。せんげん台東・西、大袋東・西、北越谷東・西、越谷東・西、新越谷東・西、蒲生東で順次実施。**3156日**を超える。

タウンミーティングを開催し、**16年目**。毎回市政や社会のテーマを設定し、議会報告と参加者による質問や意見に応え、市民間の討議も大切にしている。**通算131回**。

10回の超党派議員の4地区市政報告会を開催。桜井、大袋、新方、大沢に居住する超党派8人の有志議員主催で、年4回の議会閉会後定期的に開催

13回の正月街宣活動が新年の活動始め。当選以来毎年元旦、2日、3日に渡るせんげん台駅を始め市内一円での街頭市政報告会に取り組む。

※活動は全て2019.3.1現在

4期目の活動

8年間の活動に**マニフェスト大賞**を2度受賞。埼玉政経セミナー超党派の県内議員と市民が共同して、地域の困りごとの解決のための活動。毎年市民検証大会を開催し、特別講座や駅頭での5時間マラソン演説会を開催。

「一心太助の駅前物語」の小冊子を発行
3年前から市政レポート「一心太助の天秤棒の「駅頭は小さなドラマの連続だ」を第1号から第50号まで、パンフレットとして発行。

52回のグラウンド・ゴルフ大会開催
「がんばろう越谷」主催による各チームリーダーを中心に自主運営を続けている。参加選手は毎回150名を超えており、3か月に1回の開催。

おひさま発電・こしがやプロジェクトで西方小学校の太陽光発電開始
越谷初の市民共同発電を私立幼稚園に設置したことに続き、西方小学校の防災機能を持つ太陽光発電機を設置。子どもたちへの環境教育の現場教材になる。

中小企業振興条例の制定運動継続中
地元の中小企業家とともに、産業自治の確立に向け、中小企業家同友会の東部地域づくり委員会のメンバーとして講演会の開催や行政との勉強会の企画、実施を担当。

白川 秀嗣(しらかわ ひでつぐ)

- 昭和28年 佐賀県に生まれる
- 昭和50年 福岡大学経済学部卒業。福岡県議事務所勤務
- 昭和58年 福岡市議会議員に29歳で立候補したが惜敗
- 昭和62年 福岡市議会議員(最年少当選)を一期勤める
- 平成05年 衆議院秘書として、日本新党細川政権を支え国会事務所で活動
- 平成07年 埼玉県に転居、保険代理店勤務
- 平成11年 越谷市議選挙に立候補、2,060票の支持を得たものの、5票差で次点となり落選
- 平成13年 岩槻タクシー乗務員。変則的勤務時間を活用しながら「がんばろう、日本！」国民協議会の一員として、主権者運動を始める。日本再生のエネルギーは、バッチをつけない主権者一人一人の小さき無償の戦いから生まれることを確信。
- 平成15年 越谷市会議員当選 1期目 2709票(13位)
- 平成19年 越谷市会議員当選 2期目・副議長 3253票(7位)
- 平成23年 越谷市会議員当選 3期目 3478票(3位)
- 平成27年 越谷市会議員当選 4期目 3805票(3位)

「がんばろう、日本！」国民協議会同人
市議会会派 自治みらい 代表
ローカルマニフェスト推進地方議員連盟監事
越谷総合技術高校PTAOB樟の木会会員
中小企業家同友会会員
埼玉政経セミナー 代表

妻、2男、1女



自己責任論より 自己決定権の尊重を！



Manifesto Awards
マニフェスト大賞2014
2016優秀賞受賞



「がんばろう、日本！」
国民協議会 推薦

● 掲載責任者 / 三輪 辰宏 東京都中央区勝どき2-8-12東京ビュック中銀1225号
● 印刷所 / 合同会社ローカルアクセス 埼玉県越谷市袋山835-2パールマンション越谷502

白川ひでつぐ

越谷市議会議員

- 〒343-0045 埼玉県越谷市下間久里477-12
- TEL/FAX:048-979-3027 携帯:090-1121-9324
- ホームページ:http://shirakawa.laccess.net
- ツイッター:hishirakawa
- メールアドレス:shirakawa110@gmail.com

討議資料

白川ひでつぐ

私たちが創る、地域の未来 ～2019年統一地方選挙に向けて～

この政策は市民と議員有志で構成する「埼玉政経セミナー」での策定作業を通して、政策として発表したものです。

自治 私たちの地域をつくる基本的なルールはどうなっているの？(自治基本条例)

- 1) 自治基本条例を立憲民主主義の視点から検証します。
- 2) 市民参加や当事者意識の浸透の指針になる様に働きかけます。
- 3) 現在の住民投票制度では、市民の意思がストレートに反映しません。
市民の投票の結果が直ぐに行政の決定となる様に、常設型住民投票条例の研究を進めます。

計画 私たちの地域の将来はどうなったらよいの？そのために今からできることは？(総合振興計画)

- 1) 市のまちづくり全体の取り組みは今どうなっている？
●アベノミクスの評価も含めて、総合振興計画の各事業を評価します。
- 2) 空き家を上手に活用して活気あるまちへ！
●空き家問題への対応策の検討が取り組まれる中、地域全体のまちづくりとの関係性を重視した研究を行います。
- 3) 地域の足をまもる！
●民間バス会社への補助金に留まらず、コンパクトシティを想定して更に市民自身が実施する、地域の足の確保を目的とした今後の公共施設の在り方を提言します。
- 4) 子ども目線の子どものしあわせを！
●保育所をはじめとする待機児童対策の観点は、保護者の労働環境の面だけでは不十分です。
子ども自身のための視点から見直していく提言をします。
●不登校問題の対応として、学校復帰を前提としないなど、様々な教育を選択する仕組みを提案します。
●子どもへの虐待問題に対応するべく、児童相談所の創設のための環境を整備します。

保障 私たちが安心して暮らすために必要な保障。誰に何が必要？(社会保障)

- 1) 社会保障制度の全体を持続可能な社会のために検証し、増税を含めた改善に取り組みます。
消費税のみではなく、市民税、固定資産税の増税試算もします。
- 2) 特に国民健康保険制度の負担と給付の観点から、持続可能な制度への研究を進めます。
- 3) 特に、少子化を止めるために、子育ての現物支給(待機児童の解消、充実した保育、給食の無償化、二人目三人目の子育て)に、取り組みます。

公共 もし、今大きな災害が起こったとしたら、私たちのライフラインはどうなるの？(エネルギー・防災問題)

- 1) 災害時のライフラインの確保のための、全体像の確立と普及に努力します。
- 2) 再生可能エネルギーの活用など、「稼げるプロジェクト」の研究を進めます。

議会 地域の問題を解決して行く議会を作動させるための、市民の役割は？(議会改革)

- 1) 議会情報の徹底的な開示にむけ、市民からの働きかけを強めます。
- 2) 議員定数削減を始め、時代の変化に対応出来る、議会のあり方を研究します。



2019年市議会議員選挙「私の通信簿」 「みんなの越谷マニフェスト2015」の達成状況と評価

(埼玉政経セミナーで2015年の統一地方選挙に向けて作成)
超党派議員と市民で約束した統一政策の実績と評価です。

新しいしくみ

1. 地域で支える医療・介護・子育て

国民健康保険制度の自力での運用は一般会計からの繰り出しをしても、もはや限界に達しており、埼玉全県での広域的制度に改編された。しかし、依然として加入者の高齢者や非正規雇用の若者の増加と医療費の増加により構造的な給付と負担のアンバランスが続いており、保険税の引き上げが実施されたが、問題は深刻化している。しかし、その解決のための社会保険、共済保険との統合への根本的な議論が不足している。子育てへ世代を支える多様な地域づくりのため「子どもキラキンの」地域イベントを通して、多様な世代との交流を図ることは、一定成功したものの市民同士の関係性を地域の再生に向けて再編していく方向性や問題意識が希薄だった。

達成度 50点

2. 地域を元気にする産業

中小企業振興条例の制定運動を通して、コミュニティビジネスを始め地域産業の再生のための議論を開始することが出来た。ただ、条例を制定することが目的ではなく時代の転換による新たな市場の変化への対応の問題意識が弱い。

達成度 40点

3. 地域で循環する人・物・金・交通・エネルギー

地域再生エネルギーの活用による市民参加の促進のため、西方小学校の蓄電機能をもつ太陽光発電の設置を、PTAや自治会や学校など全体を巻き込み市民運動として展開したことは大きな成果。これで避難所となっている当該小学校は、災害時停電しても十分機能することが可能となった。

達成度 80点

新しい公共

1. 13地区が自立し、責任をもって、未来の投資出来る仕組みを

現在交付されている、市内13地区への地区交付金の運用の改善のため、使用対象を現在のイベントだけでなく、道路整備等へのハード面に拡大を目指した。市は検討はしているものの実現していない。そのため全地区からの交付金の予算要望に対する決定権を行政だけでなく、市民代表の参加を提案したが、その問題意識が行政には弱い。地区別予算編成の取り組みを通して改善する重要性が更に高まっている。今後の公共施設は、統廃合が予定されているため、政経セミナーが主催した「公共施設の在り方シンポジウム」を開催した。公共施設の運営や今後の地域における活用は、市民自身の参加意識とそれをバックアップする行政の責任を明確にすることは出来た。

達成度 60点

新しい豊かさ

1. 市民に開かれた議会への取り組みを行います。

予算、決算特別委員会を始め、全常任委員会の中継録画の実施を昨年より実現出来たことは、本会議と共に議員の質問と市長等の答弁を市民が知ることを可能にした事は大きな成果である。しかし、議会主催の市政報告会の開催については、公式な会議で議論されることはなかった。そのため桜井、新方、大沢、大袋地区在住の超党派8人の有志議員による、市政報告会が議会閉会后11回定期開催された。埼玉政経セミナーにてマラソン演説会を開催し、オープンな意思表示の場づくりと、市民アンケートを実施。

達成度 70点

2. 次世代に向けた政策への提言と取組を行います。

政経セミナー主催の「デモクラカフェin越谷～議会と学校と若者と～」を開催し、地元の文教大学生と政治や教育、地域などをテーマとして議員と学生との議論の場を提供することが出来た。議会報告会に留まらず、若者の生活感覚や意識を知ることが出来る機会となったことは大きな成果となった。同時に議会主催の「学生議会」の改善も見られ、学生を対象をとする事から高校生まで拡大し、第5回まで開催した継続性は評価出来る。しかし学生の発表の場だけでなく、日常的な学生自身の意見や議会や市政への参加の仕組みが必要とされている。

達成度 60点